

【別紙様式3】

再評価実施事業調査書

番号	2	事業名	国道改築事業		路線又は箇所名等		国道409号茂原一宮道路			
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県				
事業化年度	H12年度	用地着手年度	H13年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	H14年度 H25年度	再評価の理由		②		
費用便益比 B/C	1.2	総費用	142億円	総便益	169億円	基準年	H21年	供用開始 年度	H26年度	

【事業概要】

地域高規格道路「茂原・一宮・大原道路」は、「館山鴨川道路」や「鴨川大原道路」とともに、房総半島外房地域の観光拠点等の連絡性・周遊性を強化するため、さらには、観光・物流などの産業活動を支援する道路として、外房地域の骨格的な役割を果たす道路である。

特に、これらの地域高規格道路は、首都圏の広域的交通ネットワークを形成する東京湾アクアライン（アクア）や首都圏中央連絡自動車道（圏央道）等と一体となって、外房地域と首都圏との交通アクセス向上による連携機能の強化や、人や物の交流の活性化を促す交流機能の強化など、アクアや圏央道の整備効果を広く外房地域に波及させる道路として期待されている。

茂原一宮道路は、この「茂原・一宮・大原道路」の一部として、圏央道（仮称）茂原長南インターチェンジと接続する長南町千田から茂原市三ヶ谷に至る延長7.2kmを整備区間としており、圏央道の開通にあわせ、段階的な供用開始を目指して整備を進めているところである。

【事業の進捗状況】

	全 体	投 資 済 (平成21年度まで)	残
延長(km)	7.2	—	—
事業費(億円)	149	45.4(30%)	103.6
うち用地補償費	41	21.1(51%)	20.0
うち工事費	107	22.9(22%)	86.8

※()内は進捗率を示す

【社会経済情勢等】

- ・地域高規格道路「国道409号茂原一宮道路」は、外房地域の骨格的役割を果たす道路として、地元市町村や県議会などにおいても早期整備の要望が高い。
- ・圏央道の木更津東インターチェンジ(IC)から(仮称)茂原・長南ICまでの間については、平成22年度の完成に向け整備が進められおり、(仮称)茂原・長南ICに接続する当該道路も、圏央道に合わせて、700m区間の部分供用を予定している。
- ・残る区間のうち、県道茂原大多喜線までの約4km区間については、今後、優先的に整備を進めることとし、特に、用地買収がほぼ整った長南町区間約3.3kmについては工事着手を予定しており、また、茂原市区間700mについても計画的に用地買収を進めていく予定である。
- ・全体延長が長く事業規模が大きいことなどから事業が長期化しているものの、道路幅員や交差点形状等の見直しによりコスト縮減等を図ったところであり、重点整備区間の設定やコスト縮減等により早期に事業効果が図れるよう努めている。

【対応方針(案)】

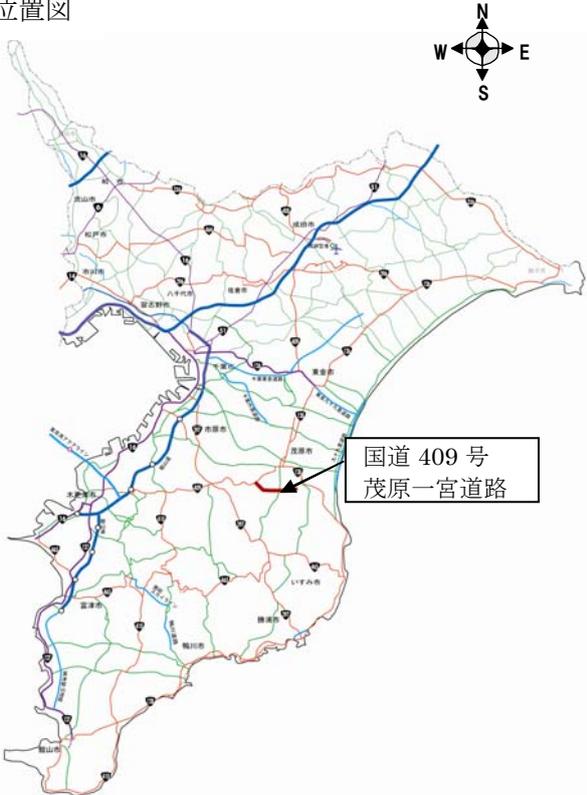
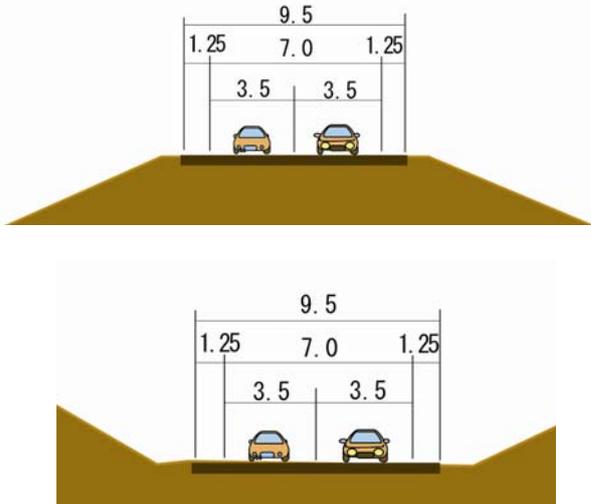
継続

地域高規格道路として、アクアや圏央道の整備効果を広く外房地域に波及させる道路として不可欠であり、地域の期待が高い道路である。

圏央道の供用開始に合わせて、国道409号から(仮称)茂原・長南インターチェンジ間約700mの供用開始を図る必要がある。

また、残る区間についても、さらなるコスト縮減に努め、早期供用が図れるよう事業を推進していく。

事業概要図

番号	2	事業名	国道道路改築	路線又は箇所名等	国道409号 茂原一宮道路
<p>位置図</p> 	<p>標準横断面図</p>  <p>(単位：m)</p>				
<p>平面図</p> 